

《パブリックコメント意見の要旨と市の考え方》

○案件 十日町市総合計画後期基本計画（試案）

○募集期間 平成 22 年 10 月 6 日～10 月 25 日

○ご意見の件数（意見提出者数） 6 人

○ご意見に対する市の考え方

ご意見①	市の考え方
新市合併時に、笹山に国宝館を建設する三段階の建設計画の報告書が提言され、基本的な計画書が作成されている。総合的な面で十分検討し、出来るだけ早い機会に夢の実現がかなうことを望む。	「国宝館」建設は、様々な経緯をたどっていますし、地元の皆さんの要望も多く頂いていますが、本計画期間には、「国宝館」建設は含まれず、今後の課題といたします。

ご意見②	市の考え方
1. 火焰の都計画を推進する姿勢は喜ばしい。 2. 国宝館・火焰の都計画答申には、国宝館は火焰の都計画の中核施設である、と書かれている。したがって火焰の都計画整備といった場合は「国宝館」という文言がなくても国宝館が含まれていると解釈するのが普通である。 3. 火焰の都計画には「資料館」という表現はない。答申を尊重すべきであるから突然に出された「資料館」は「国宝館」と書き改めていただきたい。 4. 学術調査（発掘）方針は喜ばしい。発掘と広報を提案してくれた吉村作治教授と良好な信頼関係を維持してほしい。 5. これから発掘される出土品は出土地の近く、火焰の都の範囲内に保存展示していただきたい。 6. 国宝を前面に出した「博物館展示替え」は国宝館整備までの当面の方策としていただきたい。 7. 笹山遺跡は新潟県の遺跡に指定されなかったが、「縄文」が国際語となった現在、	1. 今後とも推進していきます。 2. 答申の解釈上の問題としてではなく、答申の内容は尊重いたしますが、今回の計画期間では「国宝館」建設は含まれていない形での「火焰の都整備事業」としています。 3. 計画書の「資料館」は、「笹山縄文館」という表現に改めます。 4. そのように努めます。 5. 出土の状況にもよりますが、検討したいと考えます。 6. 展示替えについては現在その骨子を検討中ですので、ご意見として頂きます。 7. 観光や教育面での国、県との連携を進めていきます。

国宝を新潟県の観光や教育の魅力ある資源として国県に支援を求めるべきである。	
--	--

ご意見③	市の考え方
1. 文化財保護と活用・文化財施設の整備の施策に盛り込まれている火焰の都整備事業を国宝館をも含めて、より早い展開が必要であると地域活性化の観点から強く要望する。 2. 郷土が生んだ山岳写真家の岡田紅陽氏の展示施設について、当 NPO の土地活用に、地域歴史展示学習施設（文化交流施設）の建設が考えられており、市の歴史文化の活用への取り組みにも合致することでもあり連携はどうか。	1. 笹山遺跡を中心とする「火焰の都整備事業」は、地区振興会及びNPO笹山縄文の里など地元の皆さんの多大なるご理解とご協力をいただいております。地域活性化の観点からも非常に重要な施策と考えますが、「国宝館」建設については本計画後の課題とし、公園化及びじょうもん市などソフト事業を支援する基礎づくりを進めていきたいと考えます。 2. 地元の皆さんの歴史文化の掘り起こし活動との連携は、大切なことと考えます。

ご意見④	市の考え方
・地元との協働作業により平成 14 年に策定された「国宝館・火焰の都整備事業基本計画」の大きな柱であった国宝館が後期基本計画にのっていないのはなぜか。 ・中条地区の歩道整備はなぜ遅れているのか。	・「国宝館」建設は、様々な経緯をたどっていますし、地元の皆さんの要望も多く頂いていますが、市全体の行政需要等、総合的に考慮した結果、これからの課題とせざるをえませんでした。 ・中条地区（国道 117 号）の歩道整備事業については、所管する新潟県に引続き事業の促進を要望します。

ご意見⑤	市の考え方
1. 魚沼産コシヒカリに対する消費者ニーズは「圧倒的に美味しい」ことと「本物」である。ブランドの維持発展は、産地の重要な課題であり、地域を挙げてブランド対策を実施する必要があると考える。食味重視の米づくりの推進が必要である。 2. 偽装表示対策 ・魚沼産コシヒカリ専用 BL 種子を開発(技術的には可能、新潟県に確認済) ・検査機関に対し、店頭検査強化の要請 ・産地精米販売の強化(農・工・商連携、6次産業化推進) ・消費者と農家とを繋げる仕組みづくり推進(産直、かかりつけ農家制度模索) ・ブランドに対する危機感と問題意識の醸成(地域の宝物と消費者を守る)	1. ご指摘のとおり、魚沼産コシヒカリのブランド力強化には食味重視の米づくりが必要です。 計画の記述を修正します。 なお、ご提案いただいたブランド確立に向けた手法については、今後、検討をします。 2. 偽装表示対策 提案いただいた施策については、魚沼地域の他市町・JAの合意形成と、足並みをそろえた取組が必要であることから、本市の計画のみに反映する事は難しいと考えます。なお、提案いただきました取組については、偽装表示の抑制に期待ができることから、今後の検討とします。

ご意見⑥	市の考え方
1. 「縄文」を十日町市のまちづくり全体の象徴とするべき。十日町市は日本が誇る縄文文化の一大拠点である。 2. 出土地である笹山遺跡と周辺の整備。世界の至宝ともなっている国宝を、空間、照明など十分効果的な設定で国宝専門に展示、発信する国宝館、国宝室などの整備。 3. 国県市道における案内標識の充実。アプローチとなる道路改良。縄文文化を活かしたまち並み整備、施設整備など。 4. 十日町市でも以前は「男女平等社会」という言葉を使っていた。「男女平等」は「男女共同参画」より一歩進んだ考え方といわ	1. 「縄文」を十日町市のまちづくり全体の象徴として、位置づけることについての全市民的な合意が得られることが必要と考えます。 2. 笹山遺跡及びその周辺整備については、火焰の都整備事業により今後とも推進していきますが、「国宝館」については、本計画期間には含まれず、今後の課題といたします 3. 国・県・市道における案内標識、アプローチ道路の改良等については、「火焰の都整備事業」以外の施策との連携を必要としていますので、関係機関との連絡調整に努めていきます。 4. 「とおかまち男女共同参画推進プラン」(H20～H24年度まで)に「男女共同参画」の推進を謳っており、現段階では「男女

れる。男女平等のまちづくり推進に向けて十日町の心意気を言葉としてもメッセージしてもらえればと思う。	共同参画」の推進とし、25 年度以降のプラン策定時（24 年度）の検討課題と考えています。
--	--